

コミュニティ・スクール

第2回委員会開催

○日時 七月五日(土) 十四時より

○場所 本校二階ランチルーム(さくらそう)

○出席者 十名(三名欠席) オブザーバー三名出席

○内容・議題

・ iCS委員長、学校長挨拶

・ 学校の様子

・ 児童数を増やしていくために

【現状報告・熟議】

第二回目となるコミュニティ・スクール委員会が行われました。今回の委員会では校長より学校の様子の報告があり、その後、「児童数を増やしていくために」の現状と困りごとについての熟議を行いました。

続いて学校応援Tシャツに多数の寄付金が集まったと報告がありました。新河岸工業会の皆様のご厚意により集まった寄付金でTシャツを作り、夏祭りや運動会で活用する予定です。本当にありがとうございます。

次に、英語の小河先生が楽しい授業をおこなっている様子を動画で見ました。小河先生は本校のコミュニティ・スクール委員でもあり、大学の講師でもあります。中学校に向けて使える英語を学び、児童の意欲を高めています。

六年生の日光移動教室や五年生の倉淵移動教室ではとても立派に活動できたとの報告がありました。五分前行動を意識し、統率のとれた行動ができたからこそ、予定を大きく外れることなく、移動教室を終えることができました。

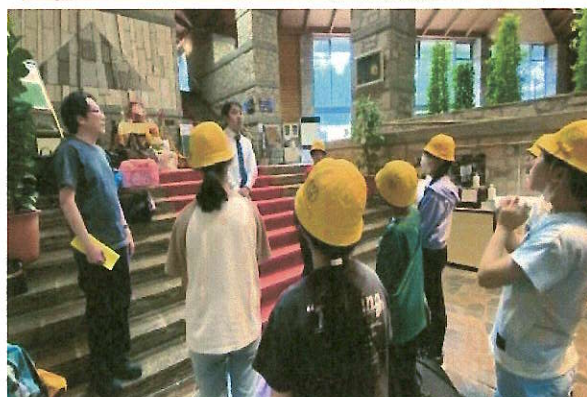
最後に学校の今後についてですが、高島平祭りや運動会での鼓笛の再開。ゲリラ豪雨や落雷などがあつた場合、新河岸都営団地の管理する都営住宅の一部を緊急一時避難場所にする「覚書」の提案。プールの雑草や不法投棄の対応。先日行われた「心の劇場」に向かうためのバスのチャーターの話が出ました。

バスをチャーターするにはバス一台分の料金を児童数で割らなくてはならず、一クラスの人数が少ない本校では一人あたりのバス代がものすごく高く出てしまいます。今回は電車で出かけましたが、ラッシュ時の乗車であつたこともあり、大変な移動でした。

以上、学校の様子を紹介していただきましたが、熟議では「児童



↑ 日光移動教室 (華厳の滝)



↑ 倉淵移動教室 (宿舍の入館式)



数を増やしていくために」の他にも、この困りごとについても活発に熟議がされました。今まではグループになり、付箋を使い熟議を行ってきましたが、今回は一人一言をいただくことができました。以下、各委員のコメントを書かせていただきます。

A委員…高齢化、子どもが生まれていない。住宅問題を区に考えてほしい。世代交代できるように七丁目の一部から新河岸に来てもらうなど、行政面から考えてほしい。

B委員…プール横の雑草をきれいにする件は地域住民側から東京都に話を進めていきたい。

C委員…新河岸小学校を全国レベルのイベント会場として使うと地域に存在を知られる。施設を解放し、イベント料金は無料にするなど付加価値を与えることができる。

D委員…今後も体育館を使い、イベントを行っていく。暑いときこそ子どものためになる。

E委員…新河岸小学校を英語でアピール。学力の底上げ。

F委員…学校支援地域本部の積極的な活動。漢字検定は年二回行っている。読み聞かせも募集して学校を活性化したい。

G委員…プールの裏、都の整備公団の土地が気になる。心の劇場はなんとかバスを使えないか。

校長…都の敷地内に勝手に入ることができない。議員への働きかけもしてある。不法投棄も多くあり本当に困っている。学校だけでは声が届かない。地域からも声をあげてほしい。

H委員…整備公団の土地、暗い、汚い、不審者も現れている。都議も考えた方がよい。また、心の劇場のバスの件で対応を考えたい。会場は変わらないのか。

I委員…バスは寄付でも対応できないか。地域住民から協力が得られるような仕組みはないか。

校長…単学級の悩みとして校外学習についてはバス代の負担が大きい。他校と一緒に行くことも考えていく。

H委員…保育園から高校まで連携した教育活動はないのか。中学の部活を小学校で披露したり、吹奏楽部と歌でコラボして活性化を図ってほしい。

J委員…災害についての補足で、一時避難所として都営住宅の一部を緊急一時避難所とする覚書を提案した。

K委員…地域の防災拠点として新河岸小学校を使う。しかし垂直避難しても十分設備が整っていない。江戸川区では五十隻ボートを用意している。垂直避難のことを考えるべき。あとはメディアの活用。イベントがあるたびにローカルメディアにこちらから流した方がよい。高島平新聞だけではなく、板橋経済新聞に載せるとヤフーニュースになる。

I委員…新河岸を音楽の街にできないか、というのが元々あった。新河岸を元気にする。チラシを作るだけではだめ。どうやってアピールするか考えるべき。新河岸だけではなく地区外に配る。

L委員…八月三日にオペラが新河岸小学校で行われる。ヤフーニュースに載せることができないか。学校に人が集まるのを協力したい。

M委員…あいキッズも学校と連携してアピールしていきたい。あいキッズの現在の様子は、いい子が多くトラブルもほとんど無い。勉強も習慣化している。あいキッズも学校公開の時に小さい子のキッズスペースや劇の控え室として活用できるのではないかな。

以上、皆様から一言いただきました。今回は委員の皆様が専門とする立場から、よりよい方向へ進めて行くべく、活発な意見が出されました。

↓7月5日新河岸祭りの様子

